2021 年度　　授業概要

科目名	作業療法評価学実習Ⅱ②					授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23 回	時間数	45 時間	1 単位		必修・選択	必修	配当学年 時期	1年 後期

【授業の目的・ねらい】
作業療法の身体領域で使用されている評価と評価法に関する知識及び技法を演習を通して学習する。

【実務者経験】
作業療法士として順心リハビリテーション病院に勤務、身体障害領域の幅広いリハビリテーションに従事経験。

【授業全体の内容の概要】
実技を中心とする。それに関する必要な知識・技術に関しては学生達も演習を実施する。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】
作業療法の身体領域で使用されている評価と評価法に関して説明でき、実技を実施することが出来る。

回数	講義内容	準備物(教材)
16	OSCE課題１	
17	OSCE課題１	
18	OSCE課題２	
19	OSCE課題２	
20	OSCE課題２	
21	OSCE課題３	
22	OSCE課題３	
23	OSCE課題３	
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・参考書】
標準作業療法学作業療法評価学第３版
PT・OTのための臨床技能とOSCE　コミュニケーションと介助・検査測定編

【準備学習・時間外学習】
作業療法士にとって評価する技術はなくてはならないものです。よって習う内容も多く、日々の復習と内容の理解を怠らないようにしてください。理解した知識が実技につながっていくことを意識しながら学習することがポイントです。

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。
小テスト5点、定期試験（筆記試験20点、実技試験25点）を100点として合計50点とする。
また、OSCEについても筆記試験（３課題全て）30点、実技試験20点として合計50点とする。
60点以上の場合に科目を認定する。